

平群東小学校

*現状

- 学級数 18クラス • 児童数 349人
- 図書標準数 10,360冊 • 登録蔵書数 8,563冊
- 図書購入費 300千円 • 図書標準達成率 83%
- 朝読 平成21年度より実施
- 開館時間 朝休み(8:15~8:30) 昼休み(1:10~1:30)
図書委員会の活動で、貸出業務を行う。
- 図書担当教員 1名(司書教諭)



本は古い物で昭和50年代のものまであり、子どもたちがなかなか手にとらないものもあります。背表紙がやぶれて何の本か分からなくなっていたり、汚れていたり、傷んでページが抜け落ちていたりしていましたが、リニューアル作業をしていただいたおかげで、随分きれいになりました。

今ある蔵書から古い物を廃本してしまうと、かなり蔵書数が減ってしまうので、検討しながら廃本している状況です。



休み時間になると、自然と子どもたちが集まり、机に本を広げて数名で見たり、畳スペースにリラックスした状態で座って本を読んだりしています。特に低学年の利用が多く、絵本や迷路のシリーズ、ゾロリなどがよく借りられています。

図書委員の活動として、朝休み、昼休みに本の貸出しをしています。また、各学期に2回ずつ読み聞かせをしたり、長期休暇前にはおすすめの本の紹介を行ったりしています。

*課題

- 児童が返却期間を守らなかったり、貸出処理がうまくできなかったりすることがある。
- 図書ボランティアの方ともっと連絡を取り合う必要がある。
- 学校図書館が狭く、本棚の数も足りない。本が棚に収まらず、上に積まれることがある。
- 棚の老朽化 • 仕切り板がなく、本が倒れてしまう。
- 教師が常駐できず、児童の要望に答えられていない。

*これからの展望

自校では、図書ボランティアの方々に季節の掲示物作りや読み聞かせ、ワークショップなどのイベントをしていただいたり、図書の補修作業なども行っていただいたりしています。しかし、日々修理の必要な本が増えたり、元の場所に本が返却されていなかったりして、学校図書館内の環境は徐々に悪くなっていくばかりです。

開館時間だけでなく、授業中などいつでも児童が利用する時に要望に応えられるよう、専門の知識をもった学校司書を配置していただき、学校図書館を利用しやすく、調べ学習にも有効活用できる、魅力ある場所にしていきたいです。



平群東小学校図書ボランティア

***沿革** 2000年から発足し、今年で13年目になります。発足当時は在校生の保護者8名から始まり、現在は卒業生の保護者を含む9名が登録しています。



***活動状況** 発足当初は、図書活動をしている県外の他校へ見学に行ったり、講演会などに参加して、できることから始めました。現在の主な活動は、平均月1回の「おはなし会」の開催、年2回のワークショップ(例年、七夕とクリスマス時)、また毎年秋の読書週間には、その年のテーマを決めて1週間毎日おはなし会をしています。また卒業前の6年生にもおはなし会をしています。他に、季節ごとの学校図書館の飾り付け、本の整理・修理、おはなし会で使用する作品の制作もしています。夏休みに町立図書が主催する「としょかんひろば」にも、毎年参加しています。

***これから目指すこと** この活動を通じて、これからも子どもたちがずっと本に親しんで読書を楽しんでくれるようになってくれればと思います。

常に活動ができるボランティアが年々減ってきている中で、この図書活動を細く長く続けていけるようにしていくことが今後の課題です。

平群西小学校

*現状

- 学級数 8 クラス ・児童数 109 人
- 図書標準数 6,040 冊
- 登録蔵書数 5,760 冊
- 図書購入費 200 千円
- 図書標準達成率 95%
- 朝読 週3回 1回15分
- 開館時間 業間、昼休み(1:10~1:30)
- 図書担当教員 2名(司書教諭)



ボランティアさんに書架の整理、学校図書館の飾り付けをしていただき、学校図書館をきれいな状態で保つことができました。蔵書点検のときには、担当教師だけでは手が足らず、ボランティアさんにも協力をお願いしました。

24年度は、月1回の定例の「おはなし会」と、6月と11月に各教室での「おはなし会」を行いました。授業時間に行うことで、普段本と触れ合うことのない児童にもとてもよい機会となりました。また、今年は「全国訪問おはなし隊」にも来校してもらい、1年生から4年生までの児童がたくさんの本を手にとることができました。

校内読書週間では、委員会児童がおすすめの本を紹介したり、オリジナルしおりを作ったり、ボランティアさんの「おはなし会」をしたりしました。読書週間の前の貸出冊数と比べると80冊の貸出冊数が増えました。

*課題

以前は、暗く寂しい雰囲気図書室でしたが、リニューアルされ明るく暖かみのある学校図書館になりました。しかし、オープン時はたくさんの児童が学校図書館を訪れましたが、それ以降、新しい本が並んだとき以外は、本好きな児童だけが利用するだけになってしまっています。



*これからの展望

学校図書館の開館は、業間休みと昼休みだけのため、授業時間に学校図書館に調べに行ったり、朝の時間などに行ったり、気が向いたときに学校図書館に行ったりすることができません。そこで西小にも専任の学校司書を置いてもらい、本好きな児童だけでなく、すべての児童がいつでも気軽に学校図書館に行けるような環境を作ってほしいです。

平群西小学校図書ボランティア

***沿革** 平成 23 年 5 月西小学校の図書ボランティアとして発足。現在は 4 人で活動中。

***活動状況** 学校図書館で月 2 回の活動。季節の掲示物作り、書架の整理、本の修理、絵本の読み聞かせ会などを行っています。読み聞かせ会では、子どもたちは瞳を輝かせて聞いてくれます。平成 23 年度には、学校支援事業として図書室のリフォームが行われ、ラベルシールの貼り替えや蔵書点検、登録作業に協力しました。町立図書館の子ども読書活動推進計画とも連携しています。

***これから目指すこと** 学校図書館を子どもたちにとって利用しやすい魅力のある場所にすることで、本に親しむ機会を作っていくたい。また、会員それぞれが数多くの経験をするによって技術を向上させ、多くの子どもたちと出会い、ひとりでも本が好きな子どもを増やせるような活動をしていきたいです。



西小ボランティアによる読み聞かせ



季節の掲示



おはなしの会による読み聞かせ

平群北小学校

*現状

- 学級数 17クラス ・児童数 393人
- 図書標準数 9,960冊 ・登録蔵書数 8,165冊
- 図書購入費 360千円
- 図書標準達成率 82%
- 朝読 授業時間で対応、朝読としては実施していない
(朝休みの開館により、必要が無くなった)
- 開館時間 8:00~16:00
- 図書担当教員 3名(うち1名が司書教諭)
- 学校司書 1名(H24年10月~配置)



おはなし会の様子



この本面白いかな~

本年度の重点課題の一つとして、「読書に親しむ子ども」を掲げています。蔵書数は約8,200冊ですが、今年度はモデル事業として、待ち望んだ学校司書が配置されました。司書が配置される以前も、PTAや環境・読み聞かせボランティアの方々の協力を得て、今まで色々な取組を行ってきました。

学校司書の配置により、学校図書館が朝の8時から下校時までずっと開館できるようになり、あえて朝読をする必要がなくなりました。

また、読みたい本を探してもらったり、リクエストにも応えてもらえるようになりました。さらに、教科学習の中で「調べ学習」を応援してもらい、貸出冊数も劇的に伸びています。学校司書と様々なボランティアの方の支えにより、魅力的な学校図書館に変化しています。学校図書館の様子は、「北小便り」で学校内の子どもたちの様子とともに、保護者の方にお知らせしています。

*課題

本に詳しい学校司書が配置され、いつでも学校図書館をあけることができるようになりました。今後は、他校との相互連携を図り、横断検索システムを活用し、町内の図書資料を子どもたちが有効に利用できるように、他校にも学校司書が配置されることが望まれます。



ゆったりと読書中

*これからの展望

学校司書の配置はもちろんですが、読書は学校だけでなく、ご家庭での協力も必要です。ご家庭でも、本の楽しさを子どもたちに語っていただき、子どもと一緒に本屋さんや図書館に出かけたり、時には本を読んであげたり、子どもが借りてきた本の事などを聞いてあげて欲しいと思います。そして、ご家庭、学校、地域で「読書に親しむ子ども」を支えていきたいと思います。

平群北小学校ボランティア

***沿革** 平成 22 年度に町の学校支援ボランティア組織の立ち上げを機会に学校支援ボランティアを呼び掛けたところ、3名の保護者の応募がありました。

また平成 24 年度に、PTA 組織にもお願いしたところ、本部役員を終えられた方々が 7 名集まり、学校図書館に温かさや季節感を出す壁面装飾の活動が始まりました。



図書館入口

***活動内容** 学校支援ボランティアの方は主に学校図書館の掃除や本の整理を中心に活動されています。また平成 23 年度にはさらに多くのボランティアが集まり、学校図書館の椅子カバー作りやソファの修理等を行っていただきました。

北小 PTA 本部ボランティアのつぶやき

平成 24 年夏頃より 10 人前後の父母達で、図書室や児童玄関口の壁面、掲示板に色々な作品を飾り付けています。四季折々の作品は一つ一つ小さくて細かい作業ですが、ボランティアみんなの作品を大きな模造紙に集めると、とても素敵な物語になります。それを見てくれた子ども達から「わ～、かわいい～。」「天井にミノムシもいるよ。」と言った、楽しそうな声が聞こえてくると、この活動の良さを改めて感じるすることができます。



壁面の飾り（秋）

平群南小学校

*現状

- 学級数 9クラス
- 児童数 163人
- 図書標準数 6,520冊
- 登録蔵書数 5,872冊
- 図書購入費 200千円
- 図書標準達成率 90%
- 朝読 週5日実施
- 開館時間 朝休み、業間休み、昼休み
- 図書担当教員 2名



現在の図書室の様子

開館時間は月～金の毎日で、児童が自由に学校図書館に来て、本を読むことができます。また、朝休みと昼休みには図書委員が貸出し・返却を行っています。昼休みには定期的に低学年向けに絵本の読み聞かせを図書委員が行っています。

また、総合的学習や各教科の調べ学習など学級単位で、授業時間に利用しています。季節感のある飾りや本の紹介などの掲示物の制作をPTAのボランティアの方にご協力頂いて、明るい雰囲気为学校図書館へ変わってきています。

*課題

外遊びを促しているのですが、特に晴れの日には利用児童数は少ないです。週5日朝読を実施し、読書を推進していますが、読んでいる本は偏っており、読書活動に学校図書館が有効利用されていません。教師が兼務で担当しており、開館時間に学校図書館に常駐できない現状では、読みたい本を探してもらいたい時や、本のリクエストがしたい時など、児童の要望の声に十分対応できるような運営はできていません。

支援事業で本の装備や補修を行っていただいたので、一度は蔵書が全て良い状態になりましたが、利用頻度の高い本の傷みは激しく、修理の必要な本、修理ができない本も多くできています。定期的に修理は行っていますが、古い本を除籍したので、書架が空いており、蔵書を充実させる必要があります。

*これからの展望

現状では、本を借りるための学校図書館でしかありませんが、学校図書館が魅力あふれる場所となり、憩いの場として、みんなが気軽に集まれ、学校図書館に行くと何か新しい発見があるなど、わくわくドキドキできる楽しい学校図書館へ変えていきたいです。



図書委員による読み聞かせ

学校図書館と町立図書館の横断検索システムが導入されましたが、有効な活用が十分にできずにいます。システムを有効に活用するためにも、また、児童にも教師にも魅力的な学校図書館となっていくためにも、専任の学校司書の配置をお願いしたいです。

平群南小学校図書ボランティア

***沿革** 平成24年、保護者の中から図書ボランティアを募集したところ、10名の申し出があり、発足。

***活動状況** 発足したばかりで、まずは学校の図書担当の先生と一緒に、これからの活動について話し合いを始めたところです。現在の南小学校の図書館はとても良い環境にあり、図書委員の児童たちが一生懸命に活動していますが、広くて蔵書数が多いことから壁面装飾まで児童の手が回っていないので、そこから始めることにしました。

***これから目指すこと** 子どもたちが学校図書館に行くのが楽しくてワクワクするような雰囲気作りをし、ひとりでも多くの子どもたちに本を好きになってもらいたいと思います。そしてボランティアも本の修理法などを学んだり、軌道にのれば読み聞かせや、紙芝居などもしていきたいと思います。



書架整理の様子

平群中学校

*現状

- 学級数 16 クラス ・ 生徒数 415 人
- 図書標準数 12,640 冊 ・ 登録蔵書数 12,329 冊
- 図書購入費 450 千円 ・ 図書標準達成率 98%
- 開館時間 放課後
- 司書教諭 1 名
- 学校司書 1 名（町立図書館より放課後開館支援）
- 朝読 毎朝 1 回 7 分程度実施



特集展示の本

放課後を中心に開館しています。町立図書館の司書が来られるようになったため、これまで諸行事・教職員の諸会議や生徒指導上の対応等で開館ができなかった日にも開館のお世話をお願いでき、開館日が格段に増えています。

*課題 利用人数・貸出冊数がこれまでより増えたものの、まだまだ少ない



です。修学旅行に向けての調べ学習において、司書の協力により資料収集・整備や資料提示がされ、生徒の相談にもものっていただくことができました。学校図書館を活用することにより、調べ学習の効果を上げることができました。授業における学校図書館の活用を、各教科・領域で積極的に進めていく必要があります。

*これからの展望

常時開館が理想ですが、学校現場の実情に応じて柔軟な対応をしていきたいです。各学校にはそれぞれ良き歴史・伝統があり、先進校の実践をそのままスライドさせるだけでは何にもなりません。また、小学校と中学校では、それぞれ子どもの発達に応じた指導を行っており、小学校と全く同じことを中学校で行うわけではありません。



現在来られている町立図書館の司書は、平群中学校に十分精通された方であり、現場のニーズに合った活動をされています。今後も、学校の良き歴史・伝統を生かしながら学校図書館の活用をし、教職員との連携を図るため、図書に詳しいだけでなく、現在のように中学校の教育活動に理解のある司書を配置する必要があります。

さらに、調べ学習の拠点として、その機能を十分に果たすために、資料を複写できる設備を整備したいと思います。